

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-235277  
(43)Date of publication of application : 13.09.1996

---

(51)Int.CI. G06F 19/00

(21)Application number : 07-040616 (71)Applicant : SANWA GINKOU:KK  
(22)Date of filing : 28.02.1995 (72)Inventor : OKAJIMA TAKATOSHI  
TAGAMI YOSHIHIRO  
YAMAGATA TAKASHI

---

## (54) METHOD AND DEVICE FOR OPENING NEW ACCOUNT

### (57)Abstract:

PURPOSE: To provide a technique capable of performing the opening procedure of an account by a machine.

CONSTITUTION: This method for opening a new account XX is provided with an information input process for specifying a specified account Xa under a name A, a deposit process for making a deposit to the new account XX to be opened and a signal input process for inputting signals for indicating that information signals registered beforehand in the specified account Xa under the name A can be cited in the opening of the new account XX.

---

### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 23.01.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 27.07.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 11-13448

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 20.08.1999

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-235277

(43)公開日 平成8年(1996)9月13日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 6 F 15/30

技術表示箇所

Z

3 2 0

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平7-40616

(22)出願日 平成7年(1995)2月28日

(71)出願人 592021076

株式会社三和銀行

大阪府大阪市中央区伏見町3丁目5番6号

(72)発明者 岡島 貴敏

東京都千代田区大手町1-1-1 株式会  
社三和銀行内

(72)発明者 田上 芳弘

東京都千代田区大手町1-1-1 株式会  
社三和銀行内

(72)発明者 山形 尚

東京都千代田区大手町1-1-1 株式会  
社三和銀行内

(74)代理人 弁理士 宇高 克己

(54)【発明の名称】 新規口座の開設方法、及びその装置

(57)【要約】

【目的】 口座の開設手続きを機械によって行うことが出来る技術を提供することにある。

【構成】 新規口座XXの開設方法であって、A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入力工程と、開設しようとする新規口座XXに入金する入金工程と、A名義の特定口座Xaにおいて予め登録されている情報信号を新規口座XXの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程とを具備する新規口座の開設方法。



1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 新規口座XXの開設方法であって、  
 A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入  
 力工程と、  
 開設しようとする新規口座XXに入金する入金工程と、  
 A名義の特定口座Xaにおいて予め登録されている情報  
 信号を新規口座XXの開設に援用しても良い旨の信号を  
 入力する信号入力工程とを具備することを特徴とする新  
 規口座の開設方法。

【請求項2】 新規口座XXの開設方法であって、  
 A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入  
 力工程と、  
 開設しようとする新規口座XXに入金する入金工程と、  
 前記特定口座Xaで規定される名義人Aに関する個人情  
 報および前記入金工程で入金された金額を表示する表示  
 工程と、  
 前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程と、  
 A名義の特定口座Xaにおいて予め登録されている情報  
 信号を新規口座XXの開設に援用しても良い旨の信号を  
 入力する信号入力工程とを具備することを特徴とする新  
 規口座の開設方法。

【請求項3】 A名義の特定口座Xaを特定する情報を  
 入力する情報入力工程が、A名義のIDカードを挿入す  
 る工程と登録番号を入力する工程とを含むことを特徴と  
 する請求項1又は請求項2の新規口座の開設方法。

【請求項4】 開設される新規口座XXに関する書類を  
 A名義の特定口座Xaの住所に送る旨の表示工程と、  
 前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを  
 具備することを特徴とする請求項1又は請求項2の新規  
 口座の開設方法。

【請求項5】 情報入力工程によって入力された情報に  
 基づいて登録されているA名義の特定口座Xaの住所を  
 検出・表示する表示工程と、  
 前記表示された住所を開設される新規口座XXに関する  
 書類を送る旨の表示工程と、  
 前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを  
 具備することを特徴とする請求項1又は請求項2の新規  
 口座の開設方法。

【請求項6】 新規口座XXの開設装置であって、  
 A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入  
 力手段と、  
 開設しようとする新規口座XXに入金する入金手段と、  
 A名義の特定口座Xaにおいて予め登録されている情報  
 信号を新規口座XXの開設に援用しても良い旨の信号を  
 入力する信号入力手段とを具備することを特徴とする新  
 規口座の開設装置。

【請求項7】 新規口座XXの開設装置であって、  
 A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入  
 力手段と、  
 開設しようとする新規口座XXに入金する入金手段と、

10 【請求項8】 A名義の特定口座Xaを特定する情報を  
 入力する情報入力手段が、A名義のIDカードを挿入す  
 る手段と登録番号を入力する手段とを含むことを特徴と  
 する請求項6又は請求項7の新規口座の開設装置。

【請求項9】 開設される新規口座XXに関する書類を  
 A名義の特定口座Xaの住所に送る旨の表示手段と、  
 前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを  
 具備することを特徴とする請求項6又は請求項7の新規  
 口座の開設装置。

20 【請求項10】 情報入力手段によって入力された情報  
 に基づいて登録されているA名義の特定口座Xaの住所  
 を検出・表示する表示手段と、

前記表示された住所を開設される新規口座XXに関する  
 書類を送る旨の表示手段と、  
 前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを  
 具備することを特徴とする請求項6又は請求項7の新規  
 口座の開設装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、例えば貯蓄預金口座の  
 開設をATM装置などの金融自動化機器（以下、ATM  
 30 で総称する）で取り扱えるようにする技術に関する。

## 【0002】

【発明の背景】 これまで、銀行などの金融機関における  
 貯蓄預金口座の開設手続きは、金融機関の窓口に申し出  
 て手続きをしなければならなかった。しかし、これでは、必ず、人手を要することから、コストが高く付く。  
 この為、窓口での手続きを経なくても貯蓄預金口座を取  
 り扱えるようにすることが望まれた。例えば、金融機関  
 に設置されているATM装置などの機械によって取り扱  
 うことが望まれた。

## 【0003】

【発明の開示】 本発明の目的は、例えば貯蓄預金口座の  
 開設手続きを機械によって行うことが出来る技術を提供  
 することにある。この本発明の目的は、新規口座XXの  
 開設方法であって、A名義の特定口座Xaを特定する情  
 報を入力する情報入力工程と、開設しようとする新規口  
 座XXに入金する入金工程と、A名義の特定口座Xaに  
 おいて予め登録されている情報信号を新規口座XXの開  
 設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程と  
 を具備することを特徴とする新規口座の開設方法によつ  
 て達成される。

【0004】又、新規口座XXの開設方法であって、A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入力工程と、開設しようとする新規口座XXに入金する入金工程と、前記特定口座Xaで規定される名義人Aに関する個人情報および前記入金工程で入金された金額を表示する表示工程と、前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程と、A名義の特定口座Xaにおいて予め登録されている情報信号を新規口座XXの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力工程とを具備することを特徴とする新規口座の開設方法によって達成される。

【0005】尚、上記発明において、A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入力工程として種々の方法が考えられるが、最も簡便、かつ、安全な方法として、A名義のIDカードを挿入する工程と登録番号を入力する工程とを挙げることが出来る。すなわち、通常、普通預金通帳あるいは総合口座通帳と称される通帳を所持している者は、普通預金口座からお金を引き出す為に自己のIDカードと、これに対応した登録番号（暗証番号）とを持っており、これらを入力（IDカードをATM装置のIDカード挿入口から挿入すると共に、暗証番号をテンキーで入力）すると、開設されている普通預金口座を特定できるようになっている。従って、この既存のものを利用することにより、余分なものを持つ必要がなく、かつ、余分な費用を掛けなくても済む。かつ、これまで立証されている通り、安全性にも富む。

【0006】又、上記発明において、開設される新規口座XXに関する書類をA名義の特定口座Xaの住所に送る旨の表示工程と、前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを具備させることが好ましい。特に、情報入力工程によって入力された情報に基づいて情報処理装置（ホストコンピュータ）等の登録手段に登録されているA名義の特定口座Xaの住所を検出・表示する表示工程と、前記表示された住所に開設される新規口座XXに関する書類を送る旨の表示工程と、前記表示工程で表示された内容を確認する確認工程とを具備させることが好ましい。すなわち、この工程を具備させておくと、仮に、IDカードや登録番号（暗証番号）が他人に利用されても、その他人に開設される新規口座XXに関する書類が送られないことを示すことから、悪用の出来心をストップさせる心理的要因を高める。

【0007】又、上記本発明の目的は、新規口座XXの開設装置であって、A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入力手段と、開設しようとする新規口座XXに入金する入金手段と、A名義の特定口座Xaにおいて予め登録されている情報信号を新規口座XXの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力手段とを具備することを特徴とする新規口座の開設装置によって達成される。

【0008】又、新規口座XXの開設装置であって、A

名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入力手段と、開設しようとする新規口座XXに入金する入金手段と、前記特定口座Xaで規定される名義人Aに関する個人情報および前記入金手段で入金された金額を表示する表示手段と、前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段と、A名義の特定口座Xaにおいて予め登録されている情報信号を新規口座XXの開設に援用しても良い旨の信号を入力する信号入力手段とを具備することを特徴とする新規口座の開設装置によって達成される。

【0009】尚、上記新規口座の開設装置において、A名義の特定口座Xaを特定する情報を入力する情報入力手段として、A名義のIDカードを挿入する手段と登録番号を入力する手段とを採用できる。又、開設される新規口座XXに関する書類をA名義の特定口座Xaの住所に送る旨の表示手段と、前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを具備させたものが好ましい。特に、情報入力手段によって入力された情報に基づいて情報処理装置（ホストコンピュータ）等の登録手段に登録されているA名義の特定口座Xaの住所を検出・表示する表示手段と、前記表示された住所に開設される新規口座XXに関する書類を送る旨の表示手段と、前記表示手段で表示された内容を確認する確認手段とを具備させたものが好ましい。

【0010】そして、上記のように構成させておくと、窓口での手続きを経なくても、ATM装置などの機械を使って貯蓄預金口座の開設を行え、省力化のみならず、午後3時以降の時間にあってもATM装置などの機械を使用できる限り貯蓄預金口座の開設を行うことが出来、金融機関のみならず、利用者にも極めて好ましい。

【0011】

【実施例】図1～図14は本発明の一実施例を示すもので、図1は全体の流れを示す概略図、図2～図12は各ステップにおける概略図、図13はフローチャート、図14は貯蓄預金口座開設装置要部のブロック図である。尚、所定の室内にATM装置1が設置されており、ドアを開けて室内に入ると、総合口座と称される預金口座の所持者（預金者）AはATM装置1を操作することが出来る。

【0012】すなわち、ATM装置1に向かって操作する預金者Aは、図2に示す如く、ATM装置1の画面に表示されている表示部分〔お引出し、お預入れ、お振込み、新規口座開設、残高照会、……〕を押す。これによって、各表示部分に対応して設けられているスイッチが作動する。例えば、〔新規口座開設〕の表示部分を押すと、これに対応したスイッチが作動して制御手段が作動し、ATM装置1の画面には、図3に示す如く、〔自動積立預金、スーパー貯蓄預金、総合口座定期預金〕等の情報が表示される。尚、この画面には〔取消〕も表示され、この〔取消〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが

作動し、終了し、最初の画面に戻る。

【0013】〔スーパー貯蓄預金〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが作動して制御手段が作動し、ATM装置1の画面には、図4に示す如く、〔貯蓄預金〕の種類が表示される。例えば、〔貯蓄預金10（残高が10万円以上なら普通預金より有利に運用できるタイプ）〕、〔貯蓄預金30（残高が30万円以上なら普通預金より有利に運用できるタイプ）〕……が表示される。そこで、預金者Aは希望のタイプに相当する部分を押すと、これに対応したスイッチが作動して制御手段が作動し、ATM装置1の画面には、図5に示す如く、〔カードを矢印の方向にお入れ下さい〕の情報が表示される。そこで、預金者Aは、預金通帳とセットで作成され、所持しているIDカード、所謂キャッシュカードをATM装置1のカード挿入口2に差し込む。

【0014】キャッシュカードがATM装置1のカード挿入口2に差し込まれると、これが検出手段で検出され、ATM装置1の画面には、図6に示す如く、〔暗証番号（登録番号）をお押し下さい〕の情報が表示される。そこで、ATM装置1に設けられているテンキー3を用いて、暗証番号を入力する。以上の操作によって、預金者A名義の総合口座の普通預金口座Xa（A名義の特定口座Xa）を特定する情報が銀行のホストコンピュータHに入力される。そして、このホストコンピュータHで登録されているA名義の総合口座通帳記載の住所が検出され、ATM装置1に転送され、住所〔東京都千代田区大手町1-1-1〕情報がATM装置1の画面に表示される（図7参照）。又、〔今回開設される口座のカードと通帳をお届けの住所（前記A名義の総合口座通帳記載の住所）に郵送させていただきます。お届け住所の内容をお確かめの上、よろしければ〔確認〕をお押し下さい。相違のときは〔取消〕〕などの情報も表示される。この〔取消〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが作動し、終了し、最初の画面に戻る。

【0015】住所情報に間違いがないことを確認して〔確認〕の部分を押すと、これに対応したスイッチが作動して制御手段が作動し、ATM装置1の画面には、図8に示す如く、〔お預入れなさる資金の種類をお押し下さい。〔紙幣のみ〕〔紙幣と硬貨〕〔硬貨のみ〕〔カードでのお振替え〕〕の情報が表示される。手持ちの現金を用いて貯蓄預金口座XXを開設しようとする場合、その現金の種類に応じた部分を押す。これによって、各表示部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動する。

【0016】例えば、〔紙幣のみ〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、ATM装置1の紙幣投入口4aが開き、預金者Aは紙幣を投入できるようになる。〔紙幣と硬貨〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、ATM装置1の硬貨投入口4bと紙幣投入口4aとが順に開き、預金者

Aは硬貨と紙幣とを投入できるようになる。

【0017】〔硬貨のみ〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、ATM装置1の硬貨投入口4bが開き、預金者Aは硬貨を投入できるようになる。所定の額のお金が所定の投入口4からボックスに投入されると、投入金子を所定のカウント手段でカウントし、そのカウント信号（投入金額、あるいは紙幣が幾らで、硬貨が幾ら）をATM装置1の画面に表示する（図9参照）。又、この画面には、〔金額をお確かめの上、〔確認〕を押して下さい。ご都合が悪ければ、〔取消〕〕の情報も表示される。

10 【0018】預金者Aは、前記表示された金額が正しい場合には、〔確認〕を押す。これによって、〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動する。前記表示された金額が正しくない場合には、〔取消〕を押す。これによって、〔取消〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動して元の画面に戻ると共に、投入金子が預金者Aに返却される。

20 【0019】〔カードでのお振替え〕の表示部分を押した場合には、これに応じて制御手段が作動し、〔お振替金額と円を押し、金額をお確かめのうえ〔確認〕をお押し下さい〕の情報がATM装置1の画面に表示される（図10参照）。そこで、ATM装置1に設けられているテンキー3を用いて振替金額を入力する。これによって、振替金額が表示される。これを確認した後、金額が正しい場合には、〔確認〕を押す。これによって、〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動する。前記表示された金額が正しくない場合には、〔取消〕を押す。これによって、〔取消〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動して元の画面に戻る。

【0020】以上の操作によって、開設しようとする貯蓄預金口座XXにお金が入金される。入金作業における〔確認〕の部分が押されると、〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動して制御手段が作動し、ホストコンピュータHで登録されている前記入力暗証番号に相当する総合口座の普通預金口座Xaの名義人Aの名前が検出され、この名前情報がATM装置1に転送される。そして、図11に示される如く、ATM装置1の画面には〔口座名義〕〔口座種類〕〔金額〕が表示される。又、〔お取引の内容をお確かめのうえよろしければ〔確認〕をお押し下さい。おやめになるとときは〔取消〕をお押し下さい。〕の情報が表示される。〔取消〕を押すと、〔取消〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動して元の画面に戻ると共に、投入金子が返却される。

40 【0021】〔確認〕を押すと、〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動し、図12に示される如く、ATM装置1の画面は印鑑

共通確認画面になる。すなわち、新しく開設する貯蓄預金口座XXの本人確認用の情報信号（例えば、印鑑、サイン、暗証番号等）にA名義の総合口座において予め登録されている情報信号を援用しても良い旨の信号を入力する為の作業が行われる。この為、〔今回口座開設いただく貯蓄預金のご印鑑・暗証番号について、既にお届け頂いている総合口座普通のご印鑑・暗証番号と同様とさせて頂くことにご了解を頂ける場合は〔確認〕を、ご了解を頂けない場合は〔取消〕をお押し下さい〕の情報が表示される。〔取消〕を押した場合には、〔取消〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、制御手段が作動して元の画面に戻ると共に、投入金子が預金者に返却される。〔確認〕を押すと、〔確認〕部分に対応して設けられているスイッチが作動し、前記の入力事項が銀行のホストコンピュータHに入力され、編集・更新される。

【0022】そして、ホストコンピュータHに入力されたのを受けて、キャッシュカードがATM装置1のカード挿入口2から排出されると共に、貯蓄預金口座XXの内容がATM装置1のプリンタ手段から打ち出され、預金者に渡され、貯蓄預金口座XXの開設手続きは終了する。尚、開設された貯蓄預金口座XXの通帳とキャッシュカードが、後日、預金者に郵送される。

【0023】このように、これまで、金融機関の窓口を経なければ貯蓄預金口座XXの開設が出来なかつたものの、上記のように構成させておくことによって、窓口での手続きを経なくても、ATM装置1を使って貯蓄預金口座XXの開設を取り扱うことが出来る。すなわち、午後3時以降の時間にあってもATM装置1を使用できる

限り貯蓄預金口座XXの開設を行うことが出来、金融機関のみならず、利用者にも極めて好ましい。

#### 【0024】

【効果】本発明によれば、例えば貯蓄預金口座の開設を機械によって行うことが出来、口座開設コストが低廉になる。又、口座開設に時間の制約が小さくなり、利用者にとっても極めて好都合である。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す概略図

【図2】本発明の一部概略図

【図3】本発明の一部概略図

【図4】本発明の一部概略図

【図5】本発明の一部概略図

【図6】本発明の一部概略図

【図7】本発明の一部概略図

【図8】本発明の一部概略図

【図9】本発明の一部概略図

【図10】本発明の一部概略図

【図11】本発明の一部概略図

【図12】本発明の一部概略図

【図13】本発明のフローチャート

【図14】本発明の自動積立口座開設装置のブロック図

#### 【符号の説明】

1 ATM装置

2 カード挿入口

3 テンキー

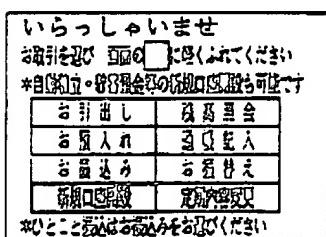
4 a 紙幣投入口

4 b 硬貨投入口

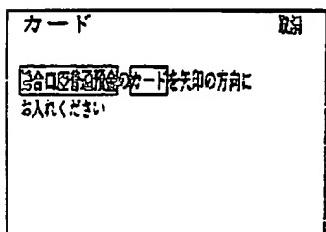
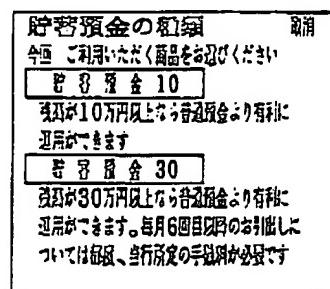
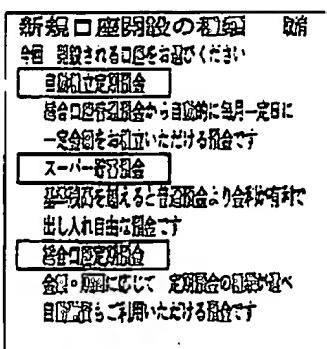
【図2】

【図3】

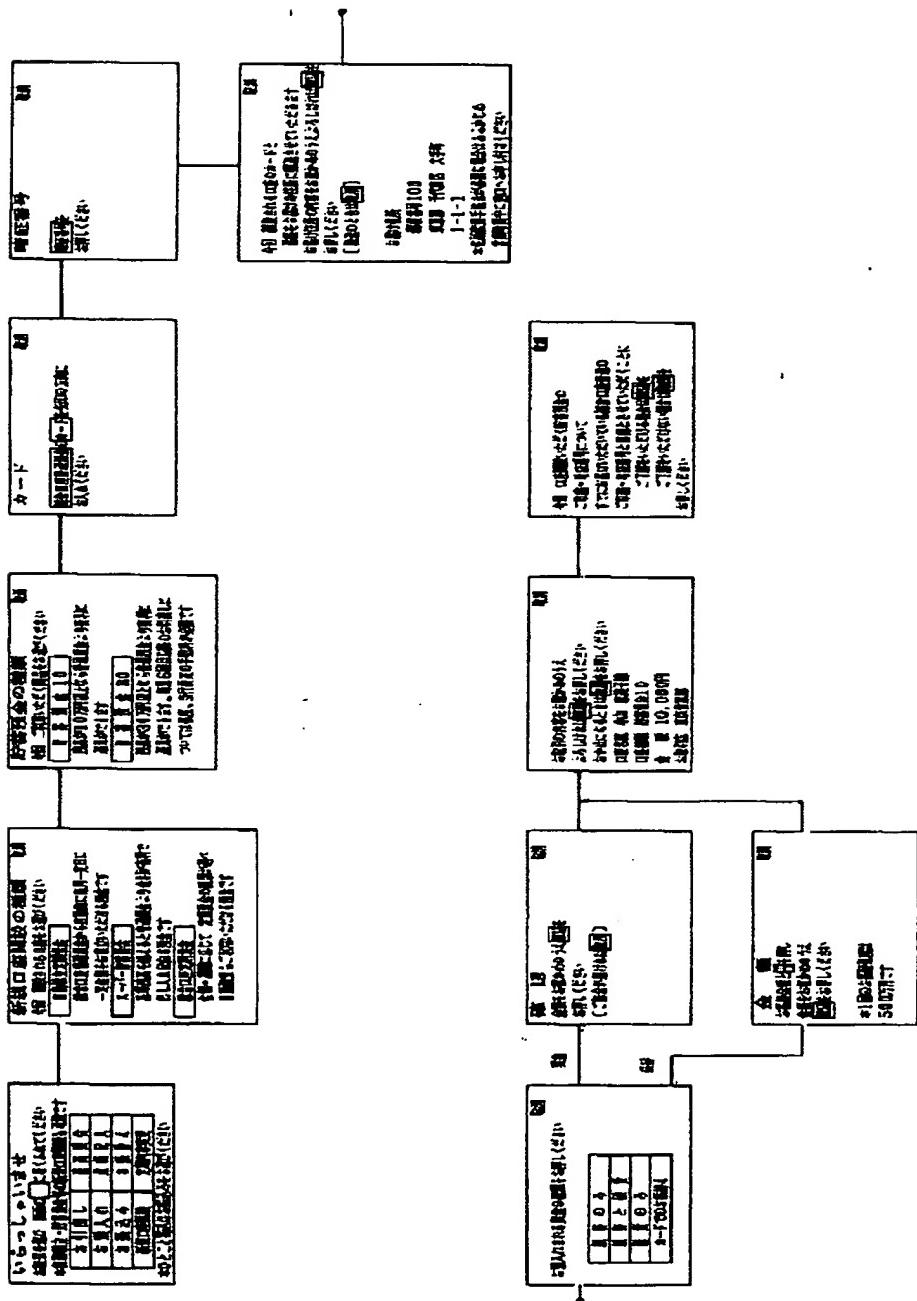
【図4】



【図5】



[ 1 ]



【図 6】

暗証番号	取消
■ お預しください	

【図 7】

取扱	
今回 製作される日版のカードと 通帳をお届けの店舗に差込させていただきます お届け住所の内容をお確かめのうえふろしきれは選択を お預しください 【複数のときは複数】	
お届け住所	
郵便番号100 東京都 千代田区 大手町 1-1-1	
*住所変更手続きが必要な場合はあらかじめ 貯蔵時間中に窓口へお申し付けください	

【図 8】

取消	
お預入れされる資金の種類をお預しください	
現金のみ	
現金と硬貨	
硬貨のみ	
カードでのお替え	

【図 9】

確定	取消
金額をお確かめのうえ選択を お預しください 【ご都合が悪い場合は選択】	

【図 10】

金額	取消
お振替金額と現金を押す 金額をお確かめのうえ 選択をお預しください	
*1回のお振替限度は 500万円です	

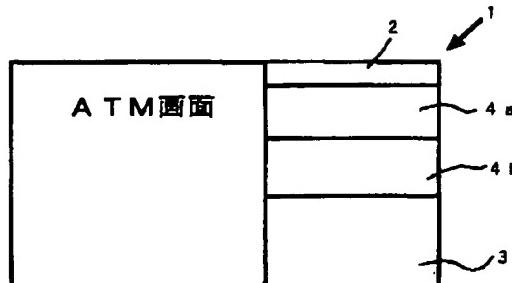
【図 11】

取消	
お取引の内容をお確かめのうえ よろしければ選択をお預しください おやめになるときは選択をお預しください 口座名義 小山 麻美子様 口座種類 常葉銀行10 金額 10,000円 お取引店 営業部	

【図 12】

確定	
今回 口を開けていただくお客様の ご年齢・暗証番号について すでにお届けいただいている総合口座普通の ご年齢・暗証番号と同様とさせていただくことに ご了解をいただける場合は選択を ご了解をいただけない場合は選択を お預しください	

【図 14】



【図13】

